

第 84 回日本学生選手権水泳競技大会 監督者会議

期 日：平成 20 年 9 月 4 日(木)

時 間：15:00～

会 場：東京辰巳国際水泳場 第1・2・3・4会議室

(1) 挨拶

- | | | |
|---------|----------------------|-------|
| ◆大会会長挨拶 | (財)日本水泳連盟 会 長 | 林 利博 |
| ◆歓迎の挨拶 | 東京都水泳協会 会 長 | 濱出 雄三 |
| ◆挨拶 | (財)日本水泳連盟 常務理事・学生委員長 | 山重美登士 |
| ◆主管支部挨拶 | (財)日本水泳連盟 学生委員会関東支部長 | 小早川ゆり |

(2) 競技概要および諸注意

- | | | |
|------------------|--------------------------|-------|
| ◆審判長注意 | (財)日本水泳連盟 競技委員 | 藤森 克悦 |
| ◆ドーピングコントロールについて | (財)日本水泳連盟 アンチドーピング委員 | 辰村 正紀 |
| ◆諸注意 | (財)日本水泳連盟 常務理事・競技委員長 | 安部 喜方 |
| ◆その他 | (財)日本水泳連盟 学生委員会関東支部実行委員長 | 綿谷 健佑 |

(3) 質疑応答

競技について

- (1) 本競技会は2008年度(財)日本水泳連盟競泳競技規則で行なう。
スタート台の角度は、7.5度から10度に変更する。
- (2) タイムスケジュール通りに行なう。
- (3) 自由形の女子800m・男子1500m及びリレー種目は予選と決勝、それ以外の種目は予選・B決勝・決勝を行なう。
- (4) B決勝・決勝進出、及びリレー種目において、同記録で定員より増加した場合はスイムオフを行なう。(自由形の800m・1500mについては抽選方式とする)
- (5) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (6) 招集は、競技開始20分前より行なう。ドーピング検査など、本人の確認のため使用するので招集所には選手票(ADカード写真貼付・以下ADカード)を必ず持参すること。
- (7) 予選競技を棄権する場合には届出用紙に記入し当該競技開催日の8:45までに招集所に届け出ること。尚、指定時間以降の棄権については棄権料(個人種目:2,000円、リレー種目:4,000円)を、無断棄権については一律4,000円を徴収する。
B決勝・決勝競技は、その予選種目終了後1時間以内に、招集所に届け出ること。棄権申告後、大会総務により棄権の受理及び繰り上げ選手の決定を行なう。
- (8) 競技成立後は、折返し監察員の指示によりプール横から退水すること。
- (9) リレーの引継ぎはPT7000によって判定する。(−0.03秒までを許容範囲とする)
- (10) 本大会は上訴審判団を設置する。構成員は、プログラムにて確認すること。
- (11) 自由形の800m・1500mは、水中ラップカウンターを使用しコールは行なわない。
- (12) 公式計時SEIKOによる水中バックアップ装置を使用する。
- (13) プールサイドに監督・コーチボックスを設ける。
- (14) リレーオーダー用紙の提出締切時間

	予選競技	決勝競技
9月5日(金)	8:45	15:15
9月6日(土)		16:00
9月7日(日)		15:00

表彰について

- (1) 個人種目（リレー競技を含む）の1位～3位に、メダルならびに賞状を授与する。4位～8位に賞状を授与する。
- (2) 学校対抗は、優勝校には、優勝杯並びに賞状を、2位から8位までは賞状を授与する。
- (3) 800m リレー、400m 自由形(男子)、1500m 自由形、200m 平泳ぎ(男子)、100m 自由形(女子)には、それぞれ特別杯が贈られる。
- (4) 賞状の受け取りと記録証の発行は更衣室入口前で行なう。
記録証発行時間：決勝競技開始～決勝競技終了後 30 分
- (5) 種目ごとに、女子・男子の順で、表彰を行なう。
なお、表彰の際の小旗・部旗の持ち込みは不可とする。
- (6) 閉会式終了まで参加大学は、帰らないこと。

プールの使用について

日 時	事 項	開門時間	予 選 開始時間	予 選 終了時間	決 勝 開始時間	決 勝 終了時間	閉門時間
9月4日(木)	公式練習日	11:00	練習時間11:00～17:00				17:30
9月5日(金)	1日目	7:30	9:15	14:15	15:15	18:20	18:50
9月6日(土)	2日目	7:30	9:00	15:10	16:00	18:00	18:30
9月7日(日)	3日目	7:30	9:00	13:50	14:30	18:00	18:45

9月5日(金) 開会式(9:00～)・開始式(15:00～)

9月7日(日) 閉会式(競技終了後)

(1) メインプール

- ① 水温は27.5度に設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。
- ③ 1コースは、ペースコースとする。
- ④ 0コース・9コースは、ダッシュコースとする。
0コースはスタート側から、9コースは9月4日・9月5日のみ折返し側からスタートの一方通行とする。
- ⑤ 昼休みの練習は、決勝競技開始15分前までとし当日のB決勝・決勝出場者のみ利用できる。
- ⑥ ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止とする。

(2) サブプール

- ① 水温は 27.5 度に設定する。
- ② 1 コースのスタート台が設置してあるコースをダッシュコースとする。
- ③ 7 コースをペースコースとする。

館の使用について

- (1) 本大会は有料入場のため、朝の開門時のみ 2 階入口となり、8:00 以降のすべての入退場は 1 階のレストラン側入口とする。
- (2) 場所取り入場は 7:15 より 2 階入口にて行なう。入場順は昨年の成績順とする。各大学 1 名（持ち物は、毛布 2 枚まで）の入場とする。
入場順：シード校→各支部団体出場校→個人出場校
- (3) 場所取りは役員の指示に従い、禁止の場所を取らないこと。
- (3) 選手席・付添席は、プールサイド席をシード校、スタンド席を団体出場校、個人出場校に割り当てる。
- (4) ダイビングプール・プールサイドをシード校選手控えスペースとする。
- (5) 割振りは参加人数を考慮して主催者側で行ない、支部内の割振りは大学間で行なう。
- (6) アリーナ内では、サブプールを含め全て土足は厳禁とする。
- (7) 選手・付添いエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (8) 選手票・付添票は、本大会専用の AD カードを使用する。AD カードは、館内にいる時は常時首から提げて掲示していること。また、入退場に際しては、必ず選手票・付添票を提示して係員の指示に従うこと。貸し借りは厳禁とする。
- (9) 更衣室の使用について、
 - ① ロッカーを使用出来る。控え場所としての使用および飲食は禁止とする。
ロッカーキーを紛失した場合は、鍵交換費用として 5,000 円を徴収する。
 - ② 競技終了後は荷物を持ち帰ること。（置き荷物は、忘れ物として扱う）

その他

- (1) TV放映(予定)について、
TV朝日 「GET SPORTS」 9月7日(日)予定
- (2) ドリンクコーナーでは、スポンサーによる飲料の提供を受けることが出来る。
- (3) B決勝・決勝のスタートリストを、2階プログラム販売所で配布する。
- (4) 競技結果を、SEIKOホームページ (<http://swim.seiko.co.jp>) で即時配信する。
- (5) プログラムは1校に1部無料配布する。販売価格は2,000円とする。
- (6) マネージャーミーティングを毎日8:00(受付7:45)より会場内会議室にて行なう。
- (7) 決勝競技終了後、すべての選手権獲得者には、フラッシュインタビューを実施する。
- (8) すべての競技者は競技終了後、予選・B決勝・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (9) ドーピングコントロールを規定通り行う。
- (10) 付添票を保持する者は、会場内・アリーナ内では必ず該当大学のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入ったものの使用は固く禁ずる。
- (11) 本大会は有料入場のため、チケットを持たない者は入場できない。2階入口での父兄、OB・OGの対応は各大学が責任を持って行なうこと。
- (12) 本大会公式ホームページ(<http://www.swim-g.net/intercollege/>)